



## 地区集会へ参加して

28回開催された地区集会に会派で参加しました。(2地区のみ公務等で勝川・大井とも都合がつかず欠席)メモ付きの資料を2人で共有して市内全体の地区要望の把握につなげています。

一番感じたのは、自助・共助が市役所側から提案されるわりに、市民が期待している市としての施策(公助)が確約されないというところでしょうか。昨年に続き、公園・道路・河川堤防・ため池などの維持管理が高齢化もあり困難になっている悩みがあちこちから出ました。市側は今年試験導入した自走式草刈り機の貸し出しを強調していましたが、軽トラックにも積めない大きなもので刈れるところばかりではないでしょう。自治会から再委託しているところもあり、市で何とかしてくれの声は大きかったのですが、明確な回答につながりません。

現役で仕事をしながら区長をされている方からは「平日昼間の開催は困る」との意見も多くあり、市職員の働き方改革としての平日日中開催は、地区からは余り支持されてないように見えました。

## 南郷、大淵、倉真

などワークショップで様々な意見をだしあう場を持った地区や、独自のアンケートなどもとった原田などもありましたが、地区役員中心の会で多様な市民の声が聞けたことになるのは少し疑問も感じました。



ヤブコウジ

「ここまで市ががんばりますから、市民も協力をお願いします。」のスタンスを市民はみんな求めています。自治区は市の仕事の下請けではないし、防災、通学路の危険解消などがたくさんあります。暮らしやすいまちづくりは行政と市民がいっしょに実現するものです。

(順次公開中)



## 補聴器購入助成制度

6月開始の助成制度に173件(11/16現在)申請がありました。敬老会などがあって制度の周知が進んだのでは、との担当課の話です。65才以上は上限5万円の助成が受けられます。

申請書に記入の上耳鼻科を受診した後に購入になります。

請願署名を集める等市民の声でできた制度です。活用下さい。

窓口は長寿推進課(21-1163)です。申請書はホームページからのダウンロードの他、市役所・支所・ふくしあにあります。



## 金権政治はもうまっぴら

政治資金。パーティーがコロナ前の規模に復活。利益率が9割にものぼるボロもうけのパーティーは、個人・企業名の報告のいらぬものがほとんどで形をかえた政治献金です。ところが政治資金会計への不記載が赤旗のスクープを機に、次々に明らかになりました。国民の税金がこうして国民のためでなく政党にお金を流すところに使われていく構図が本当に許せません。

政党助成金は国民1人あたり250円ずつ徴収された税金が各政党にばらまかれています。自民党に渡った約160億円は約249億円の総収入の6割を占めます。身を切る改革という日本維新の会も収支の3/4は国民の税金です。

日本共産党は、「思想及び信条の自由」をふみにじる憲法違反の政党助成金の受け取りを拒否しています。大企業や団体からの献金も受け取りません。ほとんどを赤旗新聞などの事業収益と党費や個人カンパでまかない、新聞発行などの事業や党機関の運営、政治活動を行なっています。誰にでも忖度なくものが言える、お金持ちのためでない施策を提案できる理由がここにあります。財政的に政治活動を支える基盤となっている新聞赤旗を是非ご購読下さい。

## イスラエルのガザからの完全撤退と平和的解決を求めます

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

# しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円

見本紙  
申し込み



購読  
申し込み



主要政党の収入内訳 (政党本部) 政党助成金

